

2024年6月26日  
マーケティング部

# 商工中金景況調査

## 2024年5月調査結果(定例分)



人を思う。未来を思う。

商工中金

1. 目的・調査事項	<ul style="list-style-type: none"><li>●目的 中小企業の、景況感をはじめとする実態のタイムリーな把握</li><li>●調査事項<ul style="list-style-type: none"><li>(1) 景況感 今月及び先行き</li><li>(2) 業況判断（売上、販売価格、仕入価格、雇用状況、生産・営業用設備、資金繰り）今月及び先行き</li><li>(3) トピックス（中小企業の経営人材の採用・育成および副業・フリーランス人材の活用状況について）</li></ul></li></ul> <p>※トピックス調査分は7月中に公表</p>
2. 回答期間・調査頻度	<ul style="list-style-type: none"><li>●回答期間 2024年5月17日～6月3日</li><li>●調査頻度 概ね四半期毎（初回調査：2020年2月）</li></ul>
3. 対象企業	商工中金の取引先中小・中堅企業
4. 企業数	有効回答数 2,080社 （アンケート依頼数 3,752社、回答率 55.4%）
5. 調査方法	インターネットによる直接回答
■ ご照会先	商工中金 マーケティング部（山本） TEL：080-7008-8724

## 調査回答企業の属性（業種別）

		回答企業数	構成比(%)			回答企業数	構成比(%)
製造業		956	46.0	非製造業		1,124	54.0
	食料品	110	5.3		建設業	63	3.0
	化学	73	3.5		卸売業	336	16.2
	鉄・非鉄	73	3.5		小売業	181	8.7
	印刷業	48	2.3		運輸業	300	14.4
	金属製品	168	8.1		飲食・宿泊	93	4.5
	はん用、生産用、業務用機械	126	6.1		情報通信業	28	1.3
	電気機器	74	3.6		その他非製造業	123	5.9
	輸送用機器	113	5.4				
	その他製造業	171	8.2				
全産業						2,080	100

(注)各項目の構成比の合計は、四捨五入の関係で100%とならない場合がある（以降頁同様）

## 調査回答企業の属性（地域別）

地域		回答企業数	構成比(%)	地域	回答企業数	構成比(%)
	北海道	53	2.5	北陸	79	3.8
	東北	156	7.5	近畿	335	16.1
	関東	627	30.1	中国	168	8.1
	甲信越	136	6.5	四国	70	3.4
	東海	227	10.9	九州・沖縄	229	11.0
全地域					2,080	100

(注)各項目の構成比の合計は、四捨五入の関係で100%とならない場合がある

地域区分：東北（青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島）、関東（茨城、栃木、群馬、東京、埼玉、千葉、神奈川）、甲信越（山梨、長野、新潟）、東海（静岡、愛知、三重、岐阜）、北陸（富山、石川、福井）、近畿（大阪、滋賀、京都、兵庫、奈良、和歌山）、中国（鳥取、島根、岡山、広島、山口）、四国（香川、徳島、愛媛、高知）、九州・沖縄（福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄）

# 1. 景況感

～5月の景況判断指数は2期連続の「悪化」超

<2024年5月の景況感>

## 5月の景況判断指数は2期連続の「悪化」超

今月の景況判断指数（全産業）は48.3

（前回比+1.7ポイント）

先行きの景況判断指数は49.7

（今月比+1.4ポイント）

□ 5月・・・「好転」13.8%、「不変」68.9%  
「悪化」17.3%

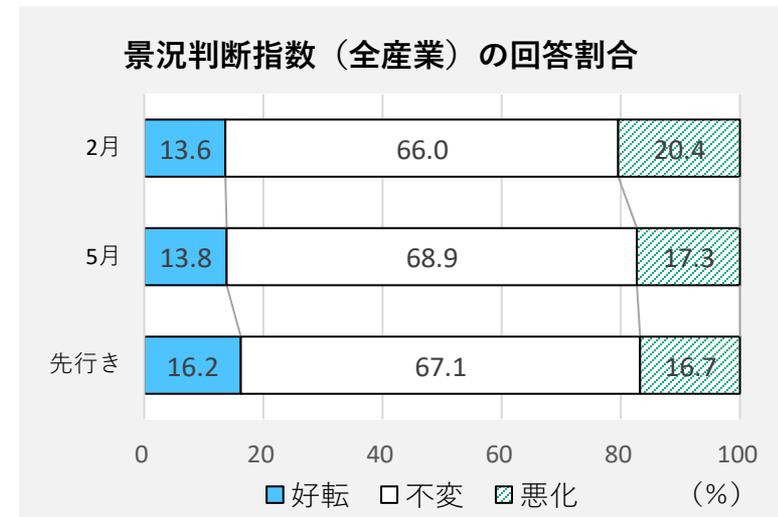
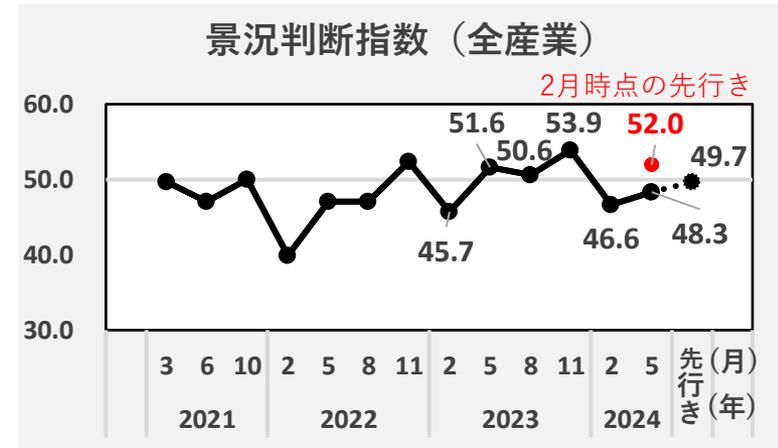
□ 先行き・・・「好転」16.2%、「不変」67.1%  
「悪化」16.7%

注1) 景況判断指数の算出式

景況判断指数 = ( (好転企業数 × 1 + 不変企業数 × 0.5 + 悪化企業数 × 0) ÷ 当該設問への回答企業数 ) × 100

指数が50を上回っていれば調査対象企業群の景況判断が概ね1~3か月前と比べて好転したことを表し、50を下回っていれば景況判断が概ね1~3か月前と比べて悪化したことを表す。50が中立となる。指数の範囲0.0 ≦ 景況判断指数 ≦ 100.0

注2) 景況判断は、「今月（概ね1~3か月前と比べて）」につき3つの選択肢 = 「1.好転」「2.不変」「3.悪化」から選択。「先行き（向こう3か月程度の見通し）」についても同様。



<2024年5月の景況感>

情報通信業、化学、運輸業などでは改善の動き

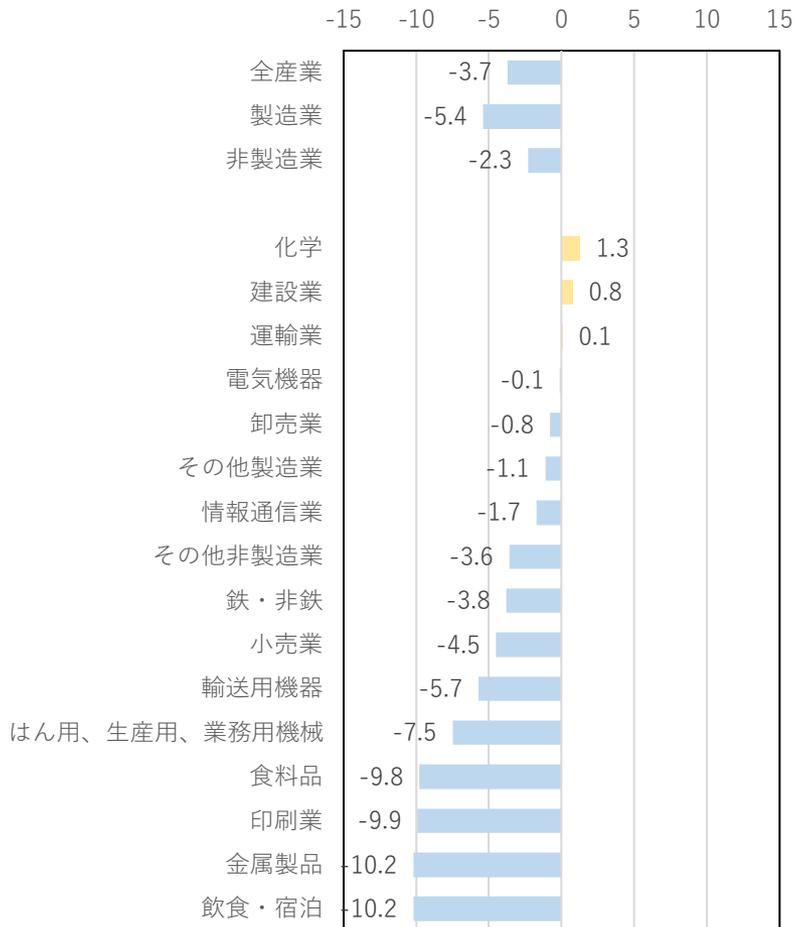
業種名	2月	5月 [2月時点の先行き]	(5月-2月)	先行き	回答数 (5月)
全産業	46.6	<b>48.3</b> [52.0]	+1.7	<b>49.7</b>	( 2,072 )
製造業	44.1	<b>46.1</b> [51.5]	+2.0	<b>49.6</b>	( 954 )
非製造業	48.8	<b>50.1</b> [52.4]	+1.3	<b>49.8</b>	( 1,118 )
食料品	50.9	<b>49.5</b> [59.3]	-1.4	<b>51.4</b>	( 109 )
化学	43.6	<b>53.4</b> [52.1]	+9.8	<b>50.7</b>	( 73 )
鉄・非鉄	36.4	<b>40.4</b> [44.2]	+4.0	<b>44.5</b>	( 73 )
印刷業	39.0	<b>43.8</b> [53.7]	+4.8	<b>45.8</b>	( 48 )
金属製品	41.4	<b>41.7</b> [51.9]	+0.3	<b>50.6</b>	( 168 )
はん用、生産用、業務用機械	46.1	<b>48.4</b> [55.9]	+2.3	<b>52.0</b>	( 126 )
電気機器	45.3	<b>45.9</b> [46.0]	+0.6	<b>49.3</b>	( 74 )
輸送用機器	41.6	<b>46.5</b> [52.2]	+4.9	<b>52.2</b>	( 113 )
その他製造業	46.8	<b>46.2</b> [47.3]	-0.6	<b>47.1</b>	( 170 )
建設業	52.3	<b>52.4</b> [51.6]	+0.1	<b>52.4</b>	( 63 )
卸売業	46.3	<b>47.6</b> [48.4]	+1.3	<b>46.0</b>	( 332 )
小売業	51.4	<b>45.8</b> [50.3]	-5.6	<b>45.8</b>	( 180 )
運輸業	46.1	<b>54.2</b> [54.1]	+8.1	<b>55.2</b>	( 300 )
飲食・宿泊	58.9	<b>53.3</b> [63.5]	-5.6	<b>55.9</b>	( 92 )
情報通信業	43.9	<b>58.9</b> [60.6]	+15.0	<b>60.7</b>	( 28 )
その他非製造業	49.2	<b>48.0</b> [51.6]	-1.2	<b>44.3</b>	( 123 )

(注) その他製造業は 紙・パルプ、繊維、窯業・土石、木材・木製品を含む。その他非製造業は 不動産・物品賃貸業、サービス業を含む。

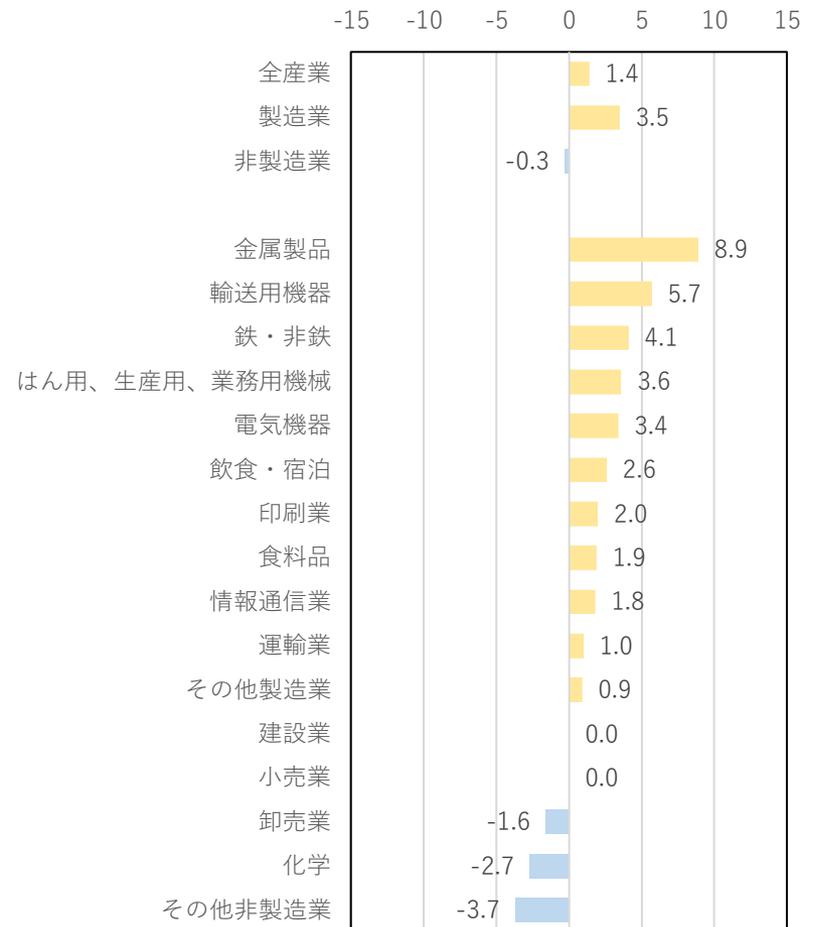
# <2024年5月の景況感（前回2月調査時点の先行き、今回調査の先行きとの比較）> **飲食・宿泊、金属製品等では前回調査時点の先行きを大幅に下回った**

## ■ 前回2月調査時点の先行き・今回5月調査の先行き景況判断指数との比較

今回5月調査の景況判断指数と前回2月調査時点の先行き  
 （今回5月実績－2月時点の見通し）



今回5月調査時点の景況判断指数と先行き景況判断指数  
 （8月の見通し－今回5月実績）



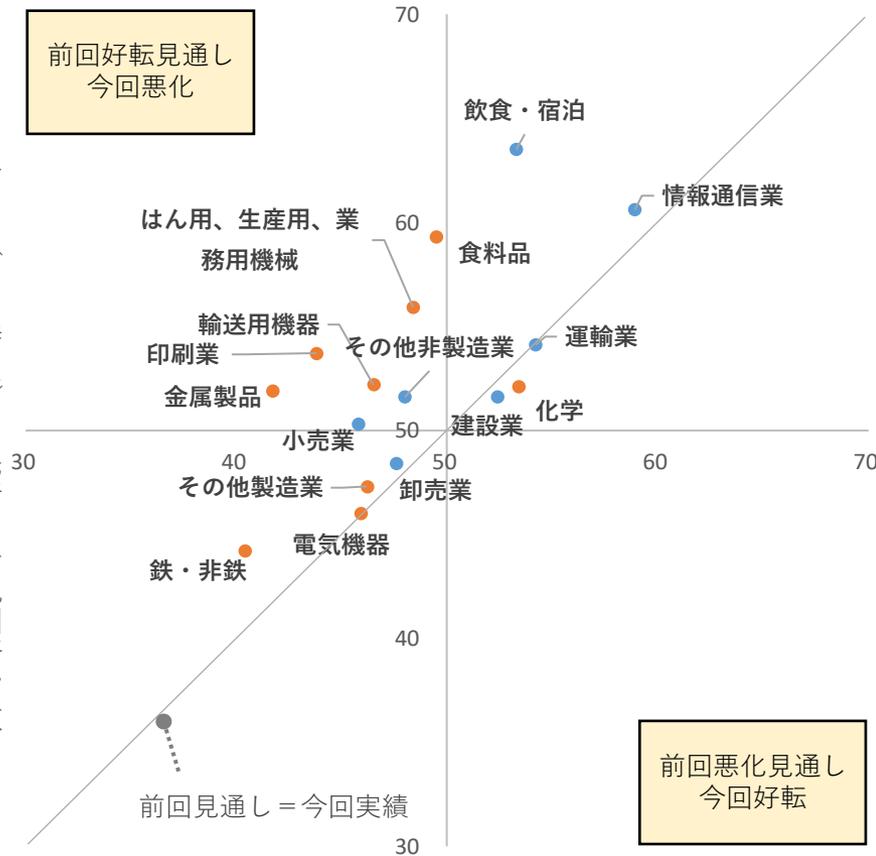
<2024年5月の景況感（前回2月調査時点の先行き、今回調査の先行きとの比較）>

■ 前回2月調査時点の先行き・今回5月調査の先行き景況判断指数との比較

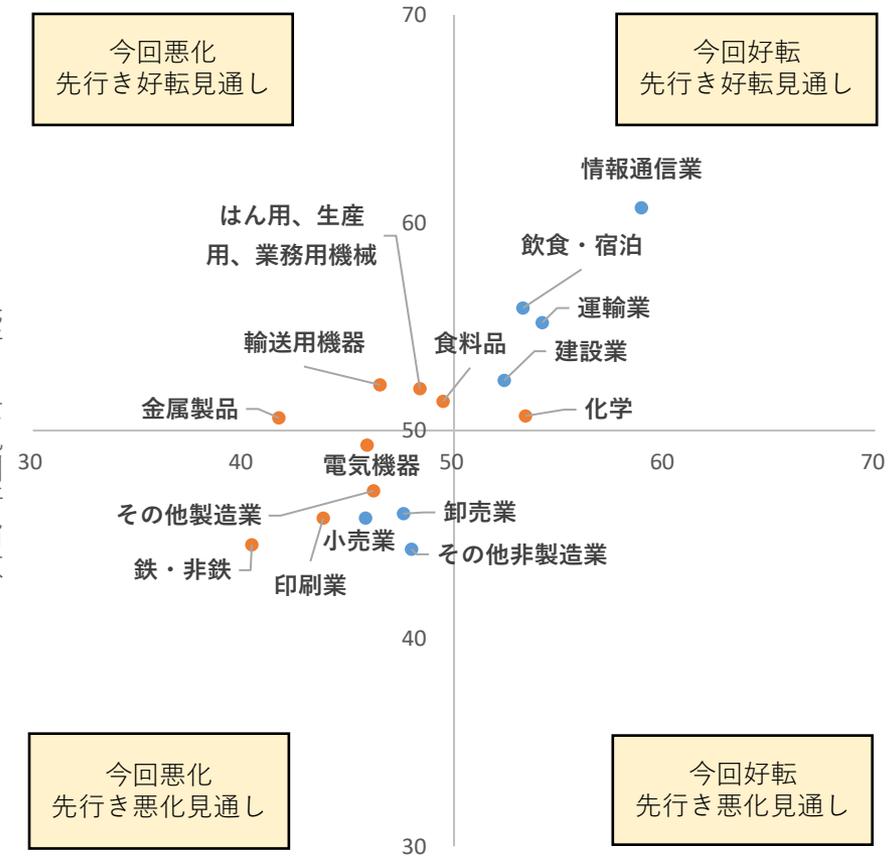
今回5月調査の景況判断指数と前回2月調査時点の先行き  
(2月時点の見通し→5月実績)

今回5月調査時点の景況判断指数と先行き景況判断指数  
(5月実績→8月の見通し)

前回（2月時点）の先行き景況判断指数



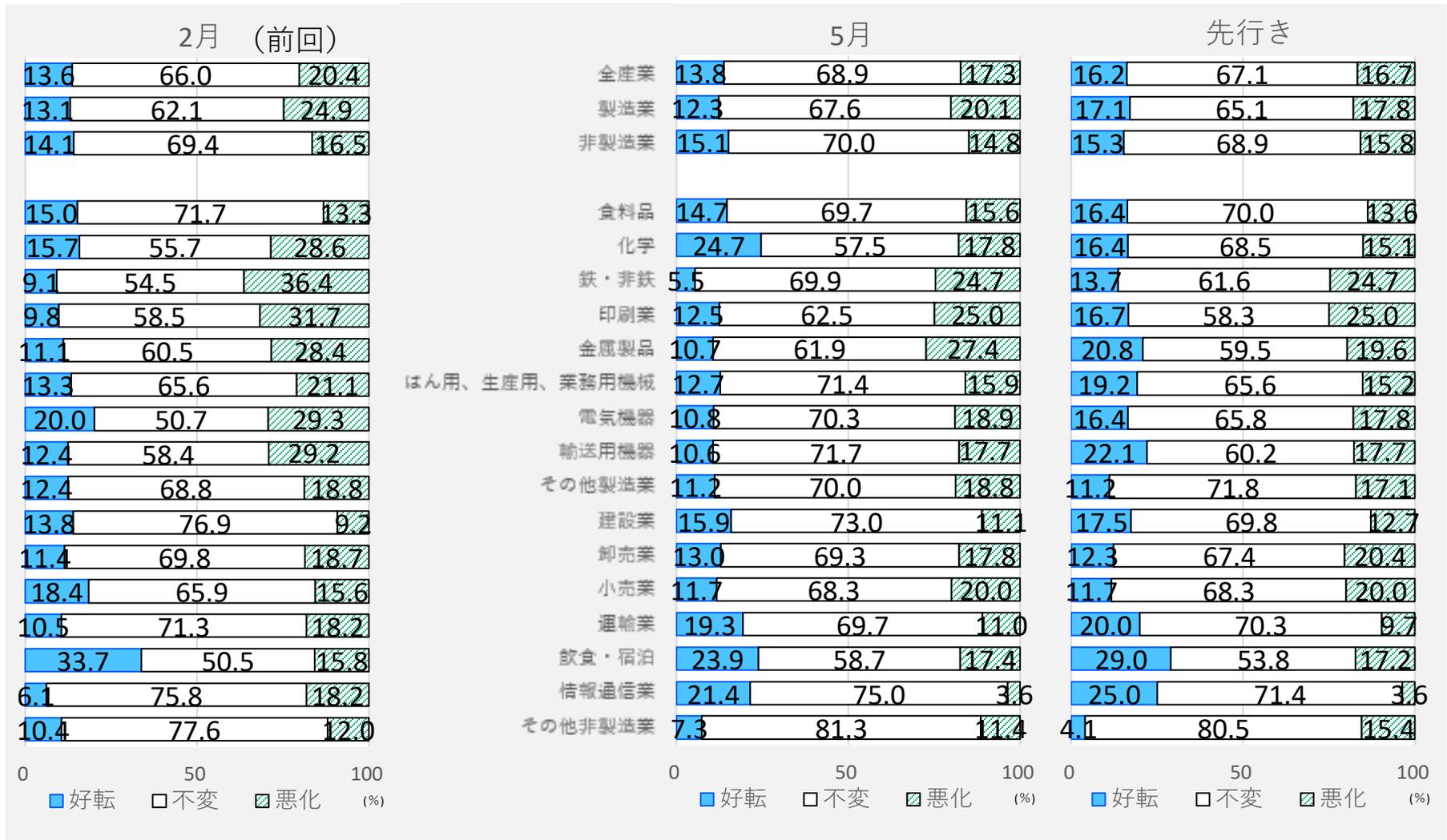
先行き景況判断指数



今月（5月）の景況判断指数

今月（5月）の景況判断指数

# <2024年5月の景況感（業種別の回答構成比）> 化学は約4分の1の企業で「好転」



## <2024年5月の景況感(地域別の景況感)> 東海地域で大きく回復

地域名	2月	5月 [2月時点の先行き]	(5月-2月)	先行き	回答数(5月)	構成比 (%)	
						製造業	非製造業
全国	46.6	<b>48.3</b> [52.0]	+1.7	<b>49.7</b>	( 2,072 )	46.0	54.0
北海道	51.9	<b>49.1</b> [50.0]	-2.8	<b>50.0</b>	( 53 )	24.5	75.5
東北	44.3	<b>44.9</b> [49.4]	+0.6	<b>47.4</b>	( 156 )	32.7	67.3
関東	45.7	<b>48.8</b> [51.4]	+3.1	<b>49.7</b>	( 626 )	47.8	52.2
甲信越	46.6	<b>44.9</b> [52.2]	-1.7	<b>54.1</b>	( 136 )	56.6	43.4
東海	44.2	<b>50.0</b> [54.9]	+5.8	<b>50.2</b>	( 226 )	62.1	37.9
北陸	44.3	<b>45.6</b> [60.1]	+1.3	<b>49.4</b>	( 79 )	51.9	48.1
近畿	45.4	<b>49.3</b> [50.2]	+3.9	<b>50.5</b>	( 335 )	48.1	51.9
中国	51.8	<b>50.6</b> [53.6]	-1.2	<b>50.3</b>	( 165 )	40.5	59.5
四国	50.8	<b>42.8</b> [48.4]	-8.0	<b>41.3</b>	( 69 )	38.6	61.4
九州・沖縄	49.6	<b>48.7</b> [52.6]	-0.9	<b>49.3</b>	( 227 )	33.6	66.4

(注) 全国ベースで調査対象企業の抽出を行っているため、地域ごとの業種構成は考慮していない。  
そのため、各地域間の比較や、全国と各地域を比較する際は注意を要する。

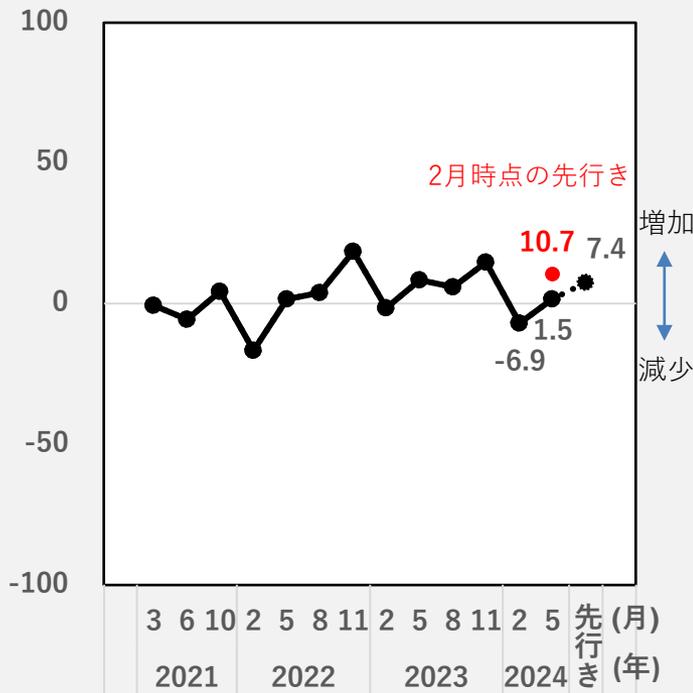
## 2. 業況判断

～【販売価格】運輸業では大幅に「上昇」超幅が拡大

<2024年5月の業況判断>

**【売上】 製造業、非製造業ともに2月時点の先行きを下回った**

売上DI (全産業)



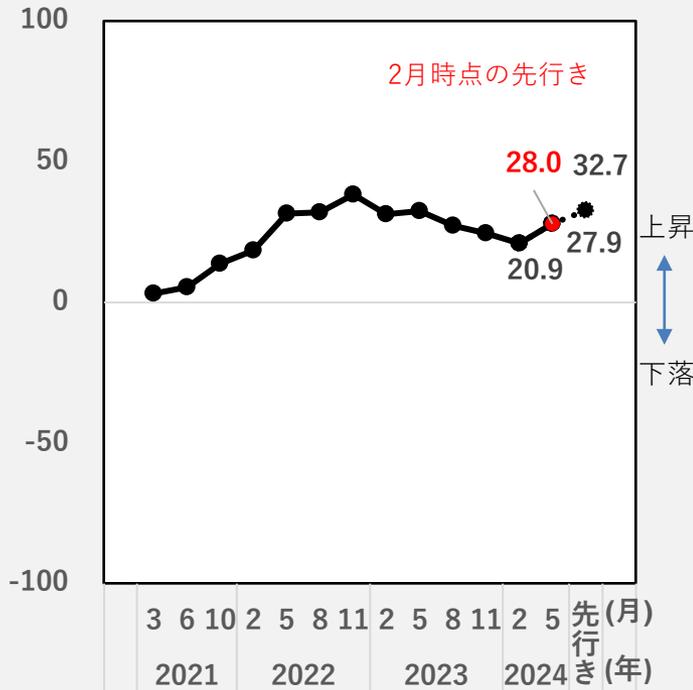
	24年2月	24年5月 [2月時点の先行き]	先行き
全産業	▲ 6.9	1.5 [10.7]	7.4
製造業	▲ 13.9	▲ 4.0 [8.0]	7.5
非製造業	▲ 1.0	6.3 [13.0]	7.4
食料品	7.1	9.2 [34.5]	10.9
化学	▲ 15.7	16.4 [11.4]	17.8
鉄・非鉄	▲ 31.2	▲ 13.7 [▲6.5]	2.7
印刷業	▲ 9.8	▲ 14.6 [12.2]	▲ 6.3
金属製品	▲ 20.9	▲ 13.1 [8.0]	3.6
はん用、生産用、業務用機械	▲ 12.5	▲ 2.4 [11.0]	11.1
電気機器	▲ 6.7	▲ 11.0 [▲6.8]	6.9
輸送用機器	▲ 25.9	▲ 8.8 [3.6]	6.2
その他製造業	▲ 10.0	0.0 [1.8]	8.8
建設業	6.2	▲ 4.8 [7.7]	3.2
卸売業	▲ 1.9	2.4 [5.0]	1.5
小売業	3.4	▲ 5.0 [11.1]	▲ 5.0
運輸業	▲ 10.8	19.0 [15.6]	21.3
飲食・宿泊	16.7	5.4 [34.4]	20.7
情報通信業	0.0	17.9 [25.0]	14.3
その他非製造業	0.8	5.7 [13.5]	▲ 1.6

(DIの定義は資料末尾に記載)

<2024年5月の業況判断>

**【販売価格】 運輸業では大幅に「上昇」超幅が拡大**

販売価格DI (全産業)



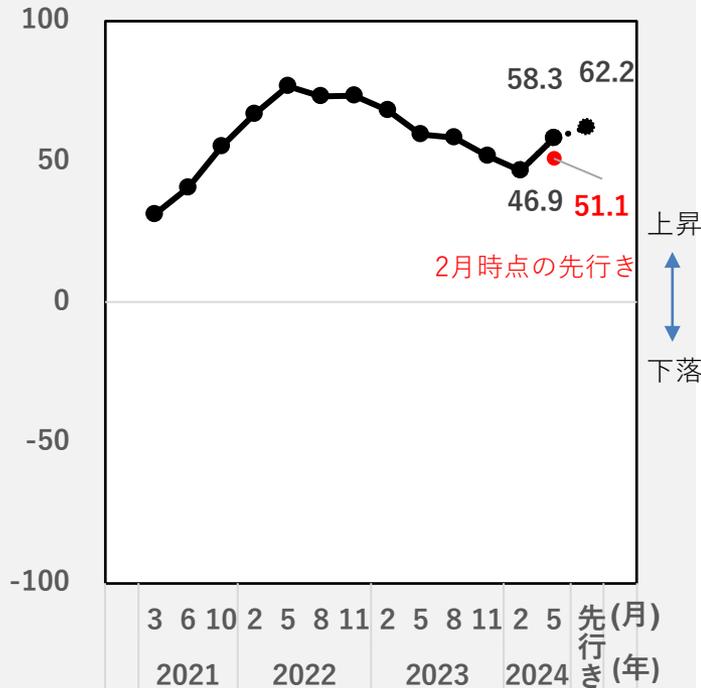
	24年2月	24年5月 [2月時点の先行き]	先行き
全産業	20.9	27.9 [28.0]	32.7
製造業	16.3	20.8 [21.9]	28.6
非製造業	24.8	33.9 [33.3]	36.2
食料品	30.1	25.7 [31.0]	23.6
化学	20.0	15.1 [18.6]	17.8
鉄・非鉄	7.8	24.7 [16.9]	32.9
印刷業	17.1	20.8 [29.3]	29.2
金属製品	8.0	16.2 [17.2]	27.5
はん用、生産用、業務用機械	12.6	17.5 [22.8]	21.6
電気機器	12.0	13.7 [20.0]	29.2
輸送用機器	17.0	24.8 [17.0]	39.8
その他製造業	21.3	25.9 [25.6]	32.7
建設業	20.0	27.0 [26.6]	27.0
卸売業	29.9	33.1 [34.7]	39.6
小売業	38.8	41.7 [42.5]	40.0
運輸業	12.7	33.3 [28.5]	30.4
飲食・宿泊	40.0	38.7 [43.2]	51.6
情報通信業	12.1	32.1 [24.2]	25.9
その他非製造業	14.5	26.4 [26.4]	30.6

(DIの定義は資料末尾に記載)

<2024年5月の業況判断>

【仕入価格】 「上昇」 超幅は再び拡大

仕入価格DI (全産業)



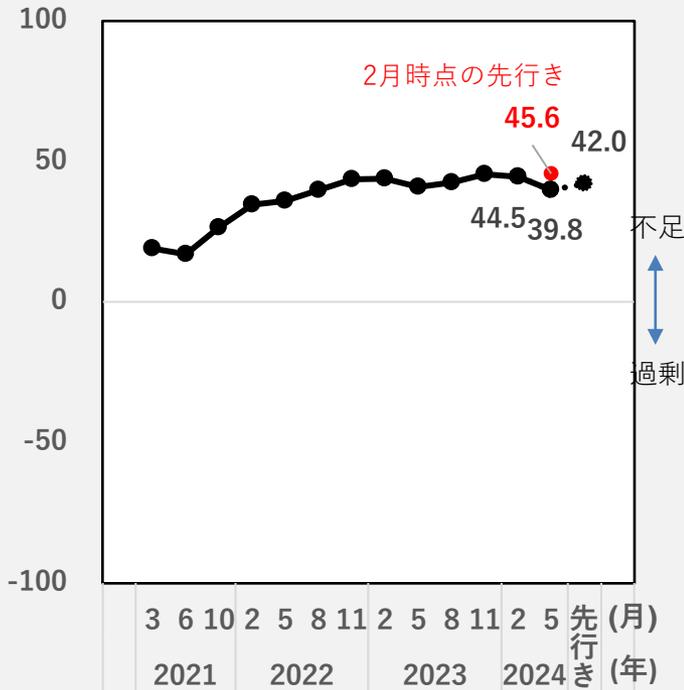
	24年2月	24年5月 [2月時点の先行き]	先行き
全産業	46.9	58.3 [51.1]	62.2
製造業	41.0	54.3 [46.5]	58.9
非製造業	51.9	61.7 [55.0]	65.0
食料品	48.7	54.1 [54.0]	60.0
化学	40.0	53.4 [50.0]	68.5
鉄・非鉄	31.2	47.9 [35.1]	60.3
印刷業	63.4	62.5 [67.5]	75.0
金属製品	35.0	53.9 [46.0]	61.1
はん用、生産用、業務用機械	43.3	63.5 [43.3]	58.4
電気機器	50.7	49.3 [54.7]	54.2
輸送用機器	32.4	51.3 [35.7]	50.4
その他製造業	40.8	52.9 [46.4]	55.0
建設業	61.5	66.7 [63.1]	69.4
卸売業	48.7	53.6 [50.8]	58.9
小売業	49.4	56.7 [53.1]	58.3
運輸業	50.5	66.8 [56.3]	69.4
飲食・宿泊	72.9	78.5 [71.9]	79.3
情報通信業	36.4	60.7 [39.4]	64.3
その他非製造業	49.6	64.5 [52.4]	67.8

(DIの定義は資料末尾に記載)

<2024年5月の業況判断>

**【雇用状況】建設業、運輸業は高水準の「不足」超が続く**

雇用状況DI（全産業）



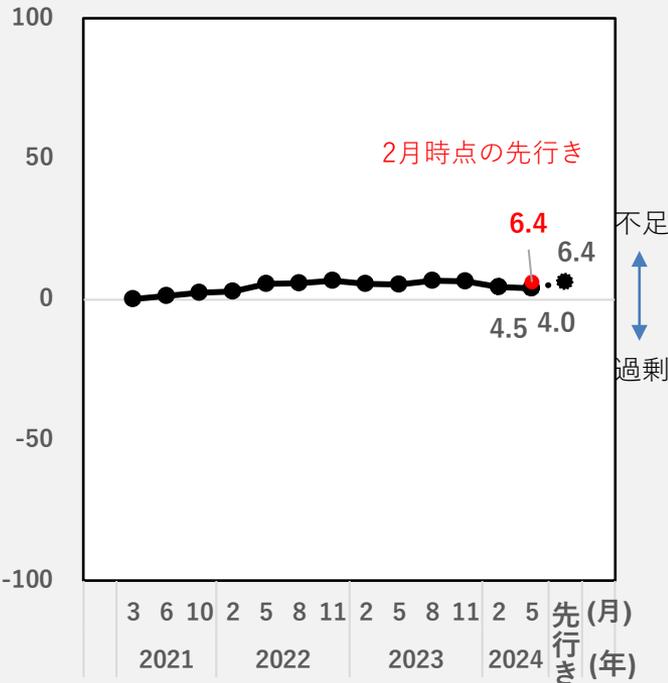
	24年2月	24年5月 [2月時点の先行き]	先行き
全産業	44.5	39.8 [45.6]	42.0
製造業	33.9	26.0 [35.0]	29.0
非製造業	53.4	51.6 [54.7]	53.0
食料品	50.4	34.9 [47.8]	36.7
化学	38.6	39.7 [40.0]	41.1
鉄・非鉄	32.5	32.9 [27.3]	37.0
印刷業	37.5	16.7 [26.8]	14.6
金属製品	32.9	25.0 [37.5]	30.5
はん用、生産用、業務用機械	26.8	21.4 [28.3]	25.6
電気機器	18.7	13.7 [26.7]	23.6
輸送用機器	27.7	20.4 [33.9]	23.0
その他製造業	38.1	27.6 [36.9]	26.9
建設業	63.1	66.7 [64.6]	69.8
卸売業	36.0	36.3 [37.1]	36.6
小売業	59.3	56.1 [57.5]	57.2
運輸業	62.6	63.5 [62.9]	64.3
飲食・宿泊	69.5	56.5 [74.0]	64.1
情報通信業	54.5	42.9 [53.1]	42.9
その他非製造業	50.4	47.9 [56.3]	49.6

(DIの定義は資料末尾に記載)

<2024年5月の業況判断>

【生産・営業用設備】小幅の「不足」超が続く

生産・営業用設備DI  
(全産業)



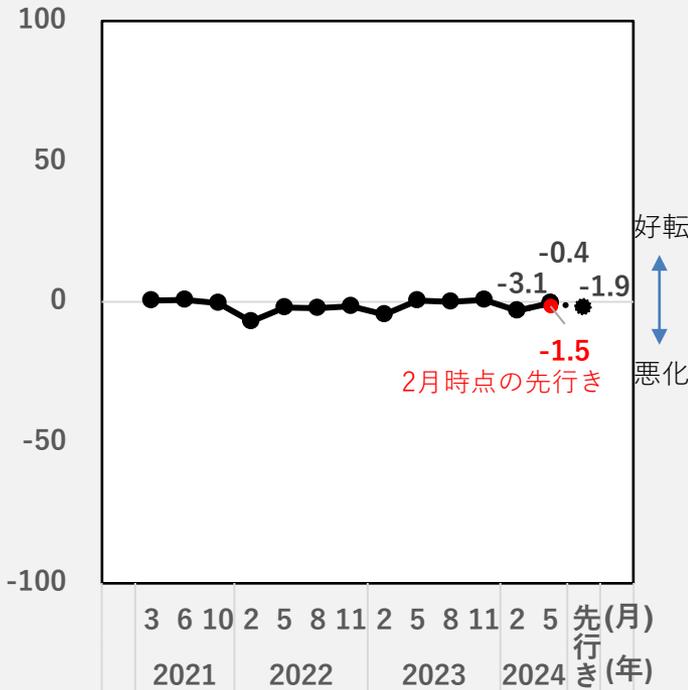
	24年2月	24年5月 [2月時点の先行き]	先行き
全産業	4.5	4.0 [6.4]	6.4
製造業	1.4	▲ 0.1 [5.0]	3.2
非製造業	7.2	7.6 [7.5]	9.2
食料品	10.7	13.8 [15.9]	14.5
化学	7.2	2.7 [13.0]	5.5
鉄・非鉄	1.3	2.7 [3.9]	4.1
印刷業	7.3	▲ 14.6 [14.6]	▲ 10.4
金属製品	▲ 3.8	▲ 2.4 [▲1.2]	1.2
はん用、生産用、業務用機械	▲ 1.6	1.6 [2.4]	4.8
電気機器	▲ 5.4	▲ 6.8 [▲1.4]	0.0
輸送用機器	▲ 1.8	▲ 2.7 [3.6]	3.5
その他製造業	3.6	▲ 1.8 [4.1]	0.0
建設業	3.1	3.3 [3.1]	5.0
卸売業	5.7	5.4 [6.4]	5.7
小売業	5.6	7.3 [6.1]	8.5
運輸業	9.2	12.6 [10.3]	16.0
飲食・宿泊	12.9	13.2 [10.8]	14.4
情報通信業	0.0	▲ 7.1 [0.0]	▲ 7.1
その他非製造業	8.0	3.3 [7.9]	5.0

(DIの定義は資料末尾に記載)

<2024年5月の業況判断>

**【資金繰り】製造業を中心に小幅の「悪化」超が続く**

資金繰りDI (全産業)



	24年2月	24年5月 [2月時点の先行き]	先行き
全産業	▲ 3.1	▲ 0.4 [▲1.5]	▲ 1.9
製造業	▲ 6.4	▲ 2.6 [▲4.3]	▲ 3.7
非製造業	▲ 0.3	1.4 [0.9]	▲ 0.4
食料品	2.7	▲ 0.9 [▲0.9]	2.7
化学	▲ 4.3	▲ 2.7 [2.9]	▲ 2.7
鉄・非鉄	▲ 9.1	▲ 9.6 [▲7.8]	▲ 9.6
印刷業	▲ 14.6	▲ 4.2 [▲5.0]	▲ 4.2
金属製品	▲ 9.3	▲ 7.2 [▲2.5]	▲ 5.4
はん用、生産用、業務用機械	▲ 9.5	▲ 0.8 [▲11.1]	▲ 3.2
電気機器	▲ 17.6	▲ 1.4 [▲17.8]	▲ 8.3
輸送用機器	▲ 5.4	0.0 [▲1.8]	▲ 1.8
その他製造業	▲ 0.6	0.6 [0.0]	▲ 3.5
建設業	1.5	14.3 [0.0]	3.2
卸売業	1.3	0.6 [2.2]	▲ 0.9
小売業	1.7	1.1 [3.9]	▲ 1.1
運輸業	▲ 7.4	2.0 [▲4.4]	0.3
飲食・宿泊	7.4	▲ 3.2 [9.4]	2.2
情報通信業	6.1	0.0 [9.1]	▲ 3.6
その他非製造業	1.6	0.0 [▲2.4]	▲ 2.5

(DIの定義は資料末尾に記載)

## (参考) 業況判断DIの定義

<b>業況判断</b>	<p>各項目の「今月」および「先行き」について、下記3つの選択肢（1.~3.）の中から、調査対象企業自身の業況についての判断（業況感）に該当するものを選択する</p>
<b>DIの算出方法 (Diffusion Index の略)</b>	<p>①売上…「1.増加」「2.不変」「3.減少」          ②販売価格…「1.上昇」「2.不変」「3.下落」          ③仕入価格…「1.上昇」「2.不変」「3.下落」          ④雇用状況…「1.不足」「2.適正」「3.過剰」          ⑤生産・営業用設備…「1.不足」「2.適正」「3.過剰」          ⑥資金繰り…「1.好転」「2.不変」「3.悪化」</p> <p>業況判断DI = 「1.」 - 「3.」の企業割合（%）          DIの範囲▲100.0 ≦ 業況判断DI ≦ 100.0</p> <p>②販売価格、③仕入価格、⑥資金繰りは「今月」はおおむね1~3か月前と比べて、「先行き」は今月と比べた向こう3か月程度の見通しについて、それぞれ選択肢から選んで回答。</p> <p>④雇用状況、⑤生産・営業用設備は、調査対象企業が「適正」と考えている水準を基準として、「今月」と「先行き」の状況を、それぞれ選択肢から選んで回答。</p>

## <2024年5月の景況感・業況判断>

# 景況感・業況判断に関連する自由記載から

### 運輸業の需要動向、価格転嫁、稼働率向上等の声

中継地機能としての倉庫需要が旺盛で保管貨物が増加。(運輸業)

協力会社とお互いに隙間を埋める体制を取り、運行車の稼働率を上げている。今後も連携の輪を拡大し、更に稼働率を上げたい。(運輸業)

能登半島地震の被害調査で、損害保険会社のタクシー利用による特別需要があった。(運輸業)

賃上げや燃料高騰を反映し、お客様へ値上げ交渉を行っているが、3分の1は応じてもらえず、業務をお断りしている状況。(運輸業)

荷主と運賃交渉はできるものの、改善基準告知や労働時間短縮へ向けた高速道路利用によるコストのみ了承するケースが多く、労務費やトラック設備の高騰への値上げは、渋い交渉が続いている。(運輸業)

### 運輸業以外でのコスト上昇による影響等の声

2024年6月をもってガス・電気料金に対する補助金が終了し、エネルギー費用の増加が見込まれ、採算面が非常に厳しい状況となる。ガス・電気料金に対する補助金の再開を強く望んでいる。(金属製品)

物価高騰に歯止めがきかない。価格改定が必要であるが、消費マインドを低下させる可能性があるなので慎重に協議したい。(飲食・宿泊)

建築費の高騰等で、着工を見合わせる現場が複数出てきている。(その他非製造業)

円安の影響で外国産材木の仕入価格高騰が予想され、国内産材木の販売が期待される。ただ、国内建設需要の低下で特に住宅新築の着工が減少。住宅価格も1.5倍以上の価格で、金利上昇傾向もあり需要の落ち込みが急速に進むのではないかと不安感がある。(卸売業)

<2024年5月の景況感・業況判断>

## 景況感・業況判断に関連する自由記載から

昨年来の自動車大手メーカーの認証不正問題等により、売上減少、受注の不透明感等の声が聞かれた。

※調査期間は～6月3日。6月4日報道の大手自動車メーカーの認証不正問題の影響は含まれていない。

自動車大手の不正問題に関して、全車種で生産再開が認められたのは朗報。ただ、**今後の新車受注への不透明感は残ったまま**。(鉄・非鉄)

認証不正問題の影響で**売上は30%ダウン**。回復の見通しは、未だに不透明。(金属製品)

自動車の**国内生産台数が不透明**で先行きの状況が分からない。(輸送用機器)

不正問題と能登半島地震の影響も大きく、**年始以降予定していた注文数が減少**。全般的に**受注状況は悪化**している。4～5月も状況は大きく変わらないが、自動車関連については6月以降は少し改善する見通し。(金属製品)

労務費や運搬費など**価格是正の動き**がある。(輸送用機器)

自動車大手メーカーの決算は好調な様子だが、今のところ受注増をあまり実感できない。**サプライチェーン各所で在庫水準がばらついている**様子。(電気機器)

自動車の新車開発が動き出し、**新規金型製作の受注引き合いが増加**。採算は依然厳しいが、難易度が高いものなどコストが見合う案件の選定で対応。(はん用、生産用、業務用機械)

自動車業界の顧客からも半導体業界の顧客からも、**先行き見通しの情報について提供がない**。**人員配置などに苦慮**している。(輸送用機器)

※文意を損なわない範囲で一部記載を変更している。

<2024年5月の景況感・業況判断>

## 景況感・業況判断に関連する自由記載から

金利ある世界への環境変化、下請法改正の影響もあり、資金繰りや資金調達に関する声も多く寄せられた。

### 【金利情勢変化の影響】

- 1ヶ月Tiborの上昇により支払利息が増加傾向。金融機関からの金利引上げの要請が増えて来た。(建設業)
- 資金繰りについては、現時点では借入金利の上昇は見られないが、先行き上昇は避けられないと思う。採算を重視した受注の選別と、価格転嫁をどう進めるかが課題。(金属製品)

### 【下請法改正の影響】

- 2024年4月より下請法対応による支払手形サイト短縮で先行きの資金繰りは悪化傾向。(その他製造業)
- 2024年11月より、でんさいの支払いサイトが4ヶ月から2ヶ月に短縮される。そのため一時的に資金繰りの悪化が予想される。(建設業)

### 【外部環境の影響、収支状況】

- 主力販売先から大型設備の更新投資要請が継続しており、銀行借入等の負担もあり、資金繰りが厳しくなっている。(鉄・非鉄)
- 人件費の増加、経費の増加を売上に転嫁できていない。保険料の増加やコロナ融資の約定返済開始による資金繰りの悪化から、新事業展開の資金が確保できない。(その他非製造業)
- 円安の進行とともに円建ての地金価格が上昇。販売価格への転嫁はできているが、従前の在庫量を維持するためには従来以上の資金が必要となり、資金繰りは以前より重要性を増している。(その他製造業)

### 【金融機関の変化】

- 地方銀行からの調達ハードルが少し上がっているように感じられる。(小売業)

<2024年5月の景況感・業況判断>

## 景況感・業況判断に関連する自由記載から

### 【消費者の節約志向の高まり】

- 4月以降は来店客減少もあり**消費者の節約志向が出ている**と思われる。GW等人の動きが出ると観光関連業界は活発化すると思われるが、スーパーマーケットは、「道の駅」や「観光地」に売上を取られる傾向がある。(小売業)
- 新規顧客開拓により売上は維持しているが、既存得意先全般に**消費者の買い控えにより厳しい状況が続く見込み**。経費増加が先行している中、景気回復が不透明で不安感は否めない。(食料品)

### 【インバウンドによる需要増】

- 京都で店舗を営業しているが、**インバウンドにより売上が増加**。状況は好転している。(飲食・宿泊)
- インバウンド需要も増加し、売上は好調**。輸入品については**円安影響で仕入価格が高騰しているため、利益率は減少傾向**。(小売業)

### 【人材不足の影響】

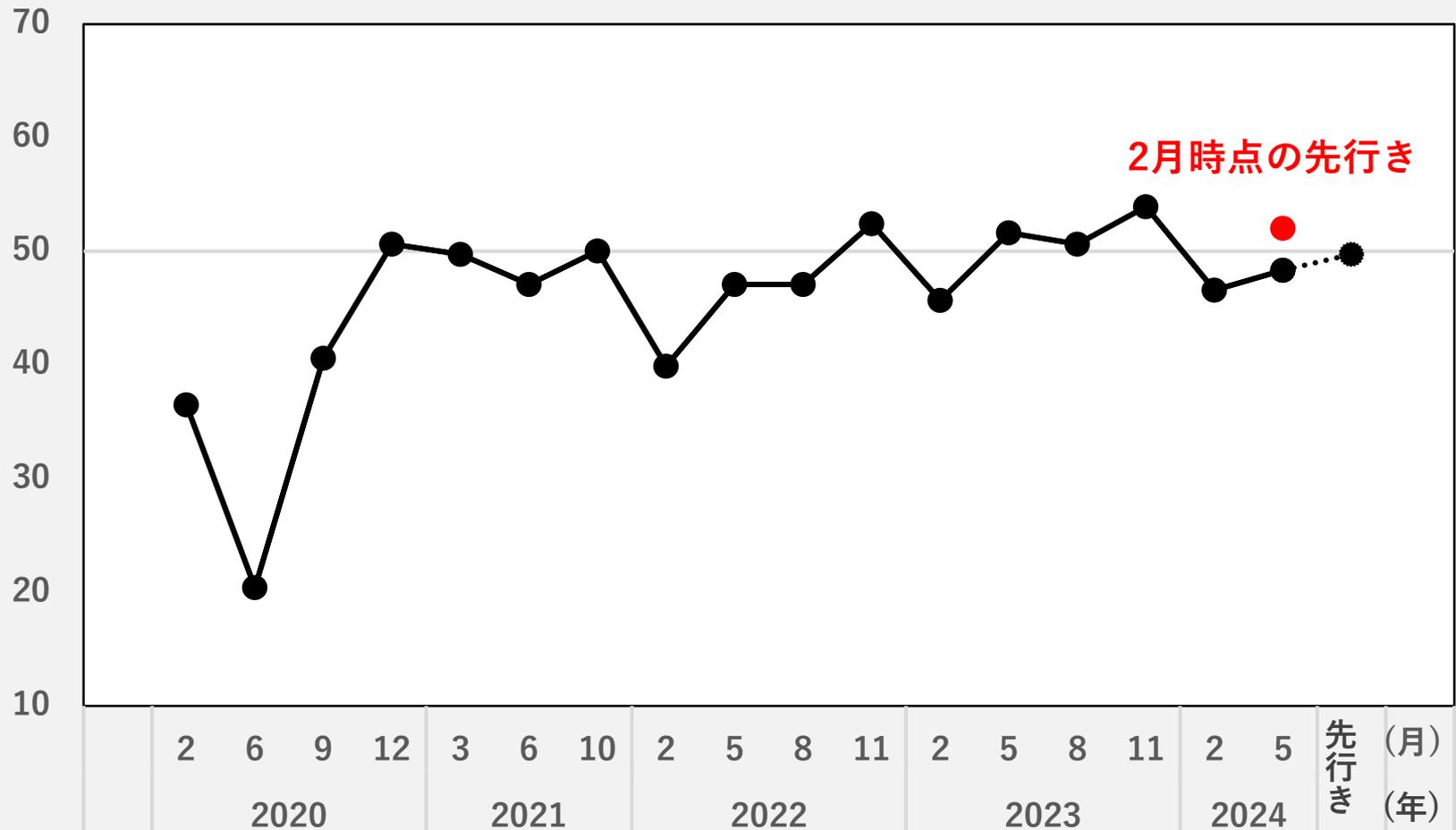
- 下請先の**人手不足により、施工能力が不透明**。受注状況に影響が出ており、能力以上の受注は無理に取らない。受注単価も採算重視で、**無理をした安値受注は受けない**。売上は現状維持・採算重視が経営方針。(建設業)
- 宿泊部門の**人手不足による、売り止めが継続中**である。(その他非製造業)
- 社員の離職率が高くなっており、**採用関連の投資について増加を見込んでいる**。事務所の縮小を来春までに実現し、資金を人材採用に振り向ける予定。(情報通信業)

### 【需要増と人材不足対応】

- 半導体関連の需要回復傾向により、計画値を大幅に上回る受注状況**。先行きも増加傾向と見込んでおりますが、人員計画の未達による生産体制への対応も課題。(化学)

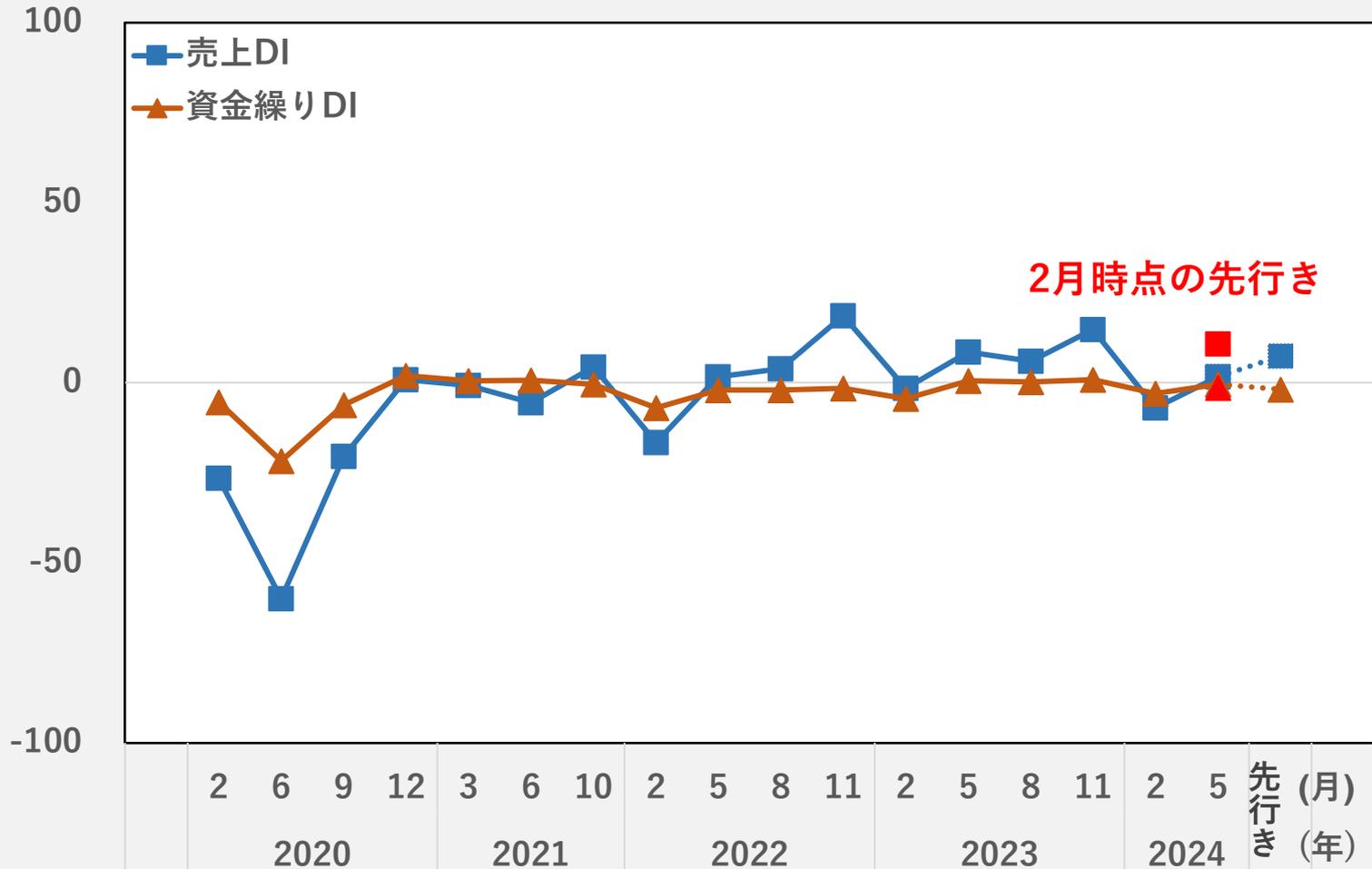
(参考) 第1回調査からの長期時系列推移 (景況判断指数)

景況判断指数 (全産業)

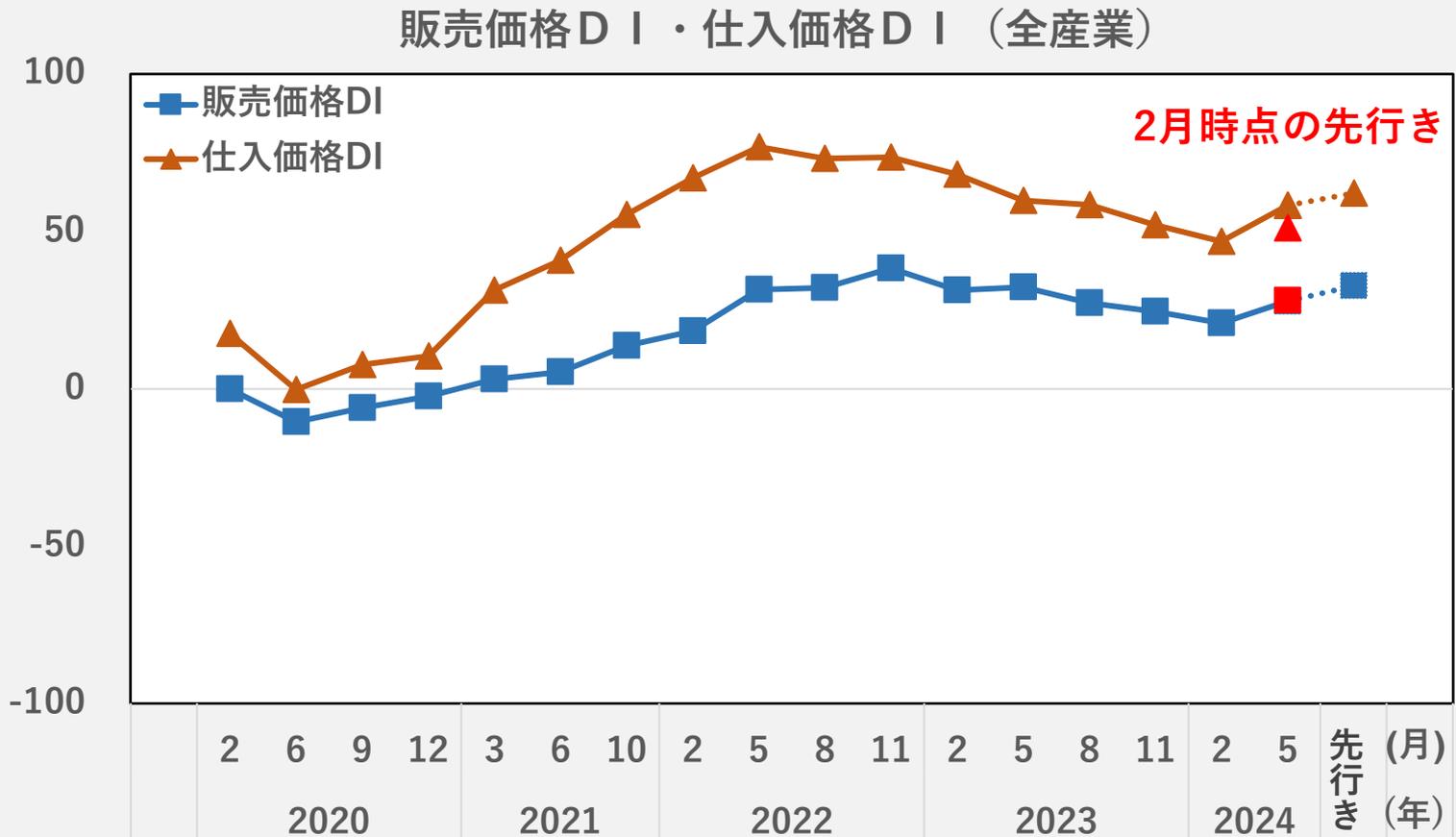


(参考) 第1回調査からの長期時系列推移 (売上、資金繰り)

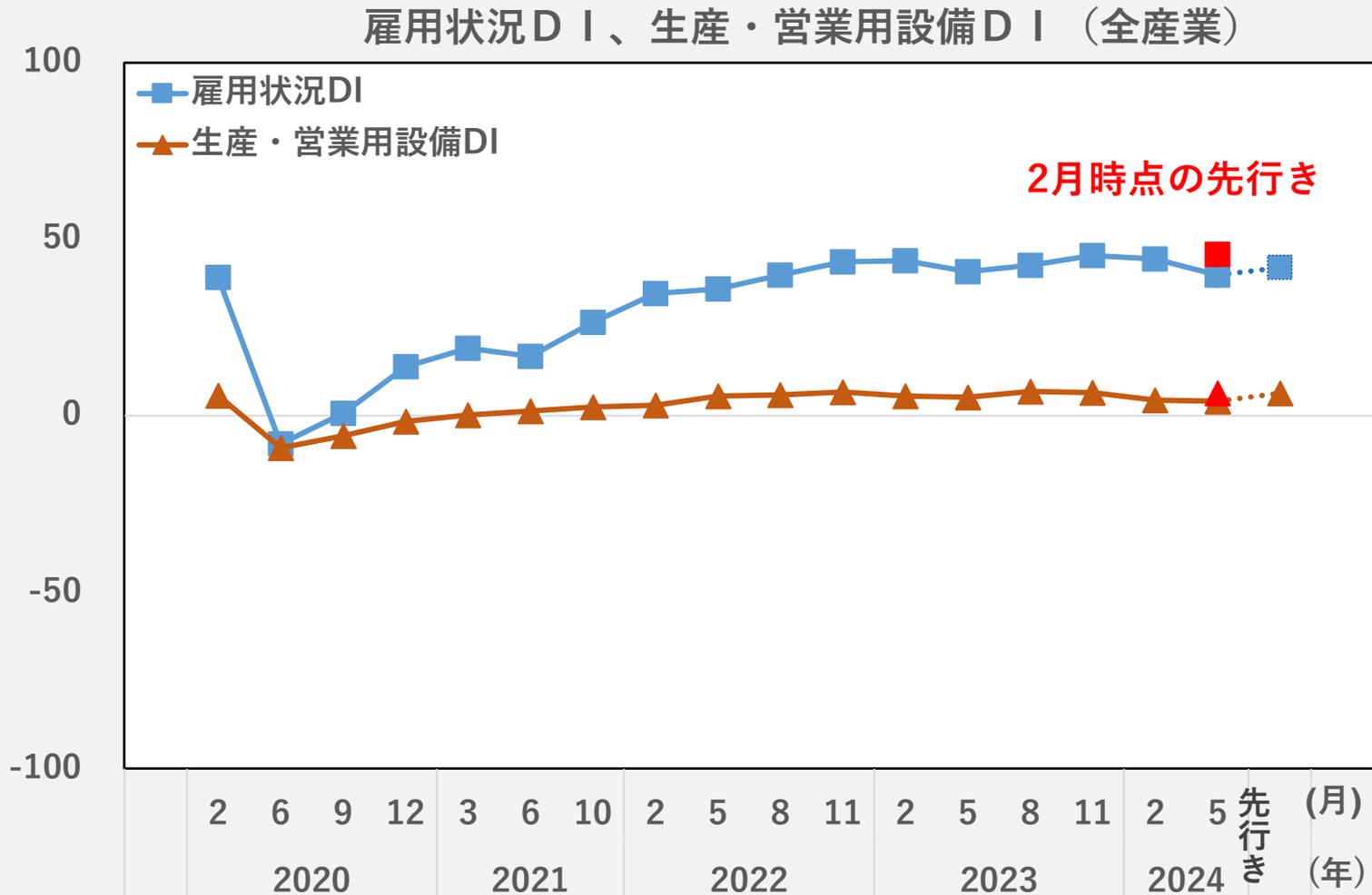
売上DI・資金繰りDI (全産業)



(参考) 第1回調査からの長期時系列推移 (販売価格、仕入価格)



(参考) 第1回調査からの長期時系列推移 (雇用状況、生産・営業用設備)





人を思う。未来を思う。

商工中金